

平成30年度 事務事業評価(議会)
(平成29年度決算)

分科会評価結果

| | | | | | | | | |
|--------------------|--------|----|---|----|------|---------|---|-------|
| 分科会名 | 文教分科会 | | | | 整理番号 | 文教-1 | | |
| 事務事業名 | 奨学助成事業 | | | | | | | |
| 評価区分 (事務事業の方向性) | ① | 拡充 | 2 | 継続 | 3 | 終期設定し終了 | 4 | 休止・廃止 |

〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉

本事業は、高等学校、大学等に在学する生徒及び学生のうち、学業人物ともに優秀で、経済的理由により修学困難な者に資金を給付し、又は貸与することにより有用な人材を育成することを目的としている。

意欲と能力のある生徒及び学生の修学の機会を確保するためにも、本事業の必要性、妥当性はともに高いことが認められる。

これまでの実績では、給付型奨学金については定員を超える応募があり、貸与型奨学金については定員に満たない状況となっている。こうしたことから、給付型奨学金については引き続き定員等について検討するとともに、貸与型奨学金については積極的に制度の周知を行うほか、卒業後に本市で就職した場合には返済を免除するなど制度の内容について検討することを求め、拡充とした。